

～ ブラッドオレンジに魅せられて ～ 山内 直子さん（宇和島市（旧吉田町））

JAえひめ南ブラッドオレンジ栽培部会役員
一次産業女子さくらひめ会員



☆経営概況☆

温州みかんをはじめ、ポンカン、せとか、ブラッドオレンジ、河内晩柑、紅まどんな、甘平、南津海など、およそ24種類の柑橘を生産し、ほぼ年間を通して出荷しています。栽培面積は約5ha（所有地4ha、借入地1ha）。主な労働力は、私、両親、長期研修生1人、短期研修生、雇用など（後継者は独立して就農）。

☆ここがポイント☆

■人に感動を与える農業者を目指して

みかん農家の一人娘として父の背中を見て育った私は、28歳のとき勤めていたツアー会社を退職し就農しました。当時は、早く両親に追いつきたいと無我夢中でした。それがいつしか、私が管理した「せとか」の園地に視察者が訪れるまでになり、自信が確信に変わりました。それからは、常に夢や目標をもち農業に取り組んでいます。今では、新規就農者の育成や研修、農業の魅力を伝えるための交流活動、ブラッドオレンジの販売促進、そして新たな加工品の開発と栽培管理など、休む暇はありませんが、充実した日々を過ごしています。

■研修生のための海見える素敵なゲストハウス

「他産業に従事する女性が泊りがけで農業体験できるように」平成21年、自宅近くの私有地にゲストハウスを建てました。1階は倉庫で、2階に個室4部屋と、お風呂、トイレ、そして共有スペースである27畳のリビングダイニングがあります。平成26年には埼玉県立女子大学の学生が宿泊するなど、研修生や農業体験者など年間約50人を受け入れています。

これからも、このゲストハウスを交流の拠点に、農業・農村の魅力を発信していきたいと思います。

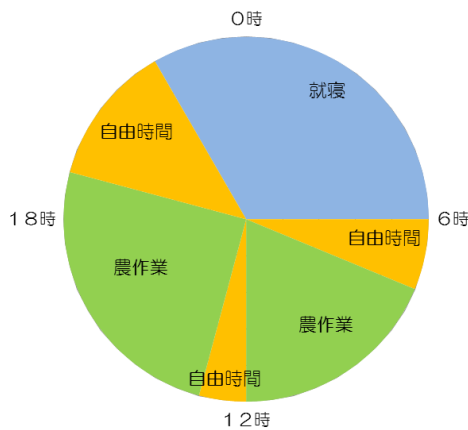


みかん畑で休憩中の研修生と園主（中央）



ゲストハウス自慢のリビングダイニング

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

農作業に負われながらも、やはり子供中心の生活で、家事や子供の世話を終えてから仕事にとりかかるようにしています。

収穫物はJAを主体に、道の駅でも販売しているので、作業は夜まで続くことも多く、1日24時間では足りないくらいです。

でも、「道の駅」で農産物を販売させていただくようになってからは、お客様の生の声が聞けるのが励みとなり、時間を忘れて作業をしてしまう日々です。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	栽培管理・収穫・出荷・加工・販売、研修生の対応、さらにJAえひめ南ブラッドオレンジ栽培部会役員としてPRや販売促進のための県外出張など					
【普通期】	栽培管理・収穫・出荷・加工・販売、研修生の対応					休日



ブラッドオレンジを使ったスイーツとジュース（果汁100%）



収穫前のブラッドオレンジ

☆これからの夢や目指すもの☆

宇和島市は一年を通して暖かく、ブラッドオレンジをはじめ、河内晩柑など多くの柑橘類が栽培されています。そんな宇和島市に、採れたての果実を使ったスイーツを食べることができるフルーツカフェをオープンさせたり、郊外の海の見える高台にワイナリーを造ったり、宇和島市をフルーツの街として有名にするのが私の夢です。皆さんも、是非応援してくださいね。

☆メッセージ☆

農業の基礎も技術もない私なので、農業の楽しさを伝えることしかできませんが、私を慕って集まってくれる人達に、自由に使える時間と場所を提供できればと考えています。